

## きのこ菌駒打ち体験

4月26日(木)、「みどりの保育園」推進事業を西荒瀬保育園で実施しました。当事業は森林環境教育として森林で様々な活動を体験してもらうことを支援するものです。

参加者は保育園から年長児25名、保育園職員4名、当センターから講師として3名、計32名でした。内容は50本あるホダ木(しいたけ用ホダ木30本、ナメコ用ホダ木20本)に、50個/本の割合で菌駒を打ち込んでいくという体験をしてもらうものです。

はじめに当センター職員から、きのこが体の調子を整えてくれる大切なものだという話から始まり、次に菌駒の打ち方について説明を行いました。始めは軽く真っ直ぐ打ち込んでいき、周りの人や自分の指を打たないように注意事項を伝え園児達は熱心に聞いていました。

駒打ちの勉強中→

←ホダ木の穴開け体験

その後5グループに分かれ、各グループの代表者1人が電動ドリルを使った穴開け体験をした後に、みんなで駒打ち体験をしました。慣れない駒打ちに、「なかなか入らない・真っ直ぐ入っていかない」と苦戦している園児が多かったですが、繰り返ししていくにつれコツを掴んでいく様子が見えかけました。また、穴に菌駒を入れる役と打ち込む役と分担し、効率よく行っているグループもありました。打ち終わる頃には駒打ちに積極的になり、他のグループの手伝いをしている園児もあり、楽しく協力しあいながら駒打ち体験を終えることが出来ました。

最後に、打ち終わったホダ木をしんちゃんの森(遊々の森)に運び、元気よくきのこが育つことをみんなで願い今年度最初の「みどりの保育園」は無事終了しました。

駒打ち名人が誕生していく様子

協力してホダ木の運搬